

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 メイコー

コード番号 6787 URL <http://www.meiko-elec.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名屋 佑一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長 (氏名) 石渡 仁

TEL 0467-76-6001

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	37,724	28.0	691	866.1	982	—	235	—
25年3月期第2四半期	29,473	△8.8	71	△84.0	△1,826	—	△2,747	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,052百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △4,502百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	12.56	—
25年3月期第2四半期	△146.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	110,556	—	38,778	—	35.1
25年3月期	102,045	—	36,726	—	36.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 38,778百万円 25年3月期 36,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有  
平成26年3月期の期末配当予想額については、現時点において未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	30.1	3,000	—	2,800	—	1,400	—	74.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	19,403,320 株	25年3月期	19,403,320 株
26年3月期2Q	629,244 株	25年3月期	629,244 株
26年3月期2Q	18,774,076 株	25年3月期2Q	18,774,076 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成25年11月20日に機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては、堅調な民間需要を背景に緩やかな回復基調が続き、雇用の順調な拡大や企業業績の改善も見られましたが、欧州においては不安定な財政問題の長期化に対し未だに根本的な解決が図れず混迷から脱却できない状態が続いております。アジア経済も、中国において景気の落ち込みにより生産活動や設備投資及び個人消費等が低迷するなど、多くの国で経済成長のペースが鈍化しています。

一方、我が国経済においては、政府・日銀の主導による経済・金融政策により為替の過度な円高が修正され、株高や消費マインドの改善による個人消費の増加や雇用の改善、生産や輸出の持ち直しなど前向きな動きが見られ、景気の底入れが確認できるようになりました。

当社グループの主要な取引先である自動車業界では、世界的に好調な自動車需要と中国における日本車需要の持ち直しを背景に堅調な拡大を続けております。またエレクトロニクス業界では、海外メーカーのスマートフォン・タブレット関連の需要が増加した反面、国内メーカーの伸び悩みに加え、パソコン関連機器の需要減や国際競争の激化によるテレビ事業の縮小等により国内各社は引き続き厳しい状況にあります。

このような環境のもと当社グループにおいても、好調な車載関連及び海外のスマートフォン・タブレット関連を中心に新規顧客の獲得と受注の拡大に努めた結果、国内及び海外の主力工場各々の生産規模が拡大し売上も増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、377億2千4百万円（前年同期比28.0%増）と前年同期に比べ82億5千万円の増収となりました。また、損益面は、営業利益が6億9千1百万円（前年同期比866.1%増）、経常利益が9億8千2百万円（前年同期は経常損失18億2千6百万円）、四半期純利益が2億3千5百万円（前年同期は四半期純損失27億4千7百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,105億5千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ85億1千万円増加しました。流動資産において、受取手形及び売掛金が38億1千6百万円増加、商品及び製品が9億6千5百万円増加、固定資産において、有形固定資産が24億2千6百万円増加が主な要因であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は717億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億5千8百万円増加しました。流動負債において、支払手形及び買掛金が16億5千8百万円増加、短期借入金が12億2百万円増加、固定負債において、長期借入金が46億1千3百万円増加が主な要因であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は387億7千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億5千2百万円増加しました。利益剰余金が2億3千5百万円増加、為替換算調整勘定が17億7百万円増加が主な要因であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ5億1千2百万円増加(前年同期は14億7千万円の増加)し、93億円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、14億5千万円(前年同期は3億8千万円の増加)となりました。この減少は、主に売上債権の増加37億3千万円、たな卸資産の増加18億8百万円による資金の減少と、減価償却費29億7千4百万円、仕入債務の増加12億4千5百万円による資金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、18億3千6百万円(前年同期は27億7千3百万円の減少)となりました。この減少は、主に有形固定資産の取得による支出21億1百万円、投資有価証券の取得による支出1億6千3百万円による資金の減少と、保険積立金の払戻による収入3億5千6百万円による資金の増加によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、36億2千4百万円(前年同期は39億6千6百万円の増加)となりました。この増加は、主に短期借入金の純増減額による収入8億3百万円、長期借入れによる収入98億3千6百万円による資金の増加と、長期借入金の返済による支出69億4千9百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、本日(平成25年11月8日)公表の「平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,007	9,519
受取手形及び売掛金	12,128	15,945
商品及び製品	3,417	4,383
仕掛品	2,597	3,052
原材料及び貯蔵品	4,472	5,102
その他	3,492	2,699
貸倒引当金	△14	△15
流動資産合計	35,101	40,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,998	26,233
機械装置及び運搬具(純額)	27,525	28,887
土地	1,944	1,882
建設仮勘定	6,587	6,459
その他(純額)	716	735
有形固定資産合計	61,772	64,198
無形固定資産	468	466
投資その他の資産	4,703	5,203
固定資産合計	66,944	69,868
資産合計	102,045	110,556

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,242	8,901
短期借入金	13,971	15,173
1年内返済予定の長期借入金	13,107	12,245
未払法人税等	738	326
賞与引当金	440	448
その他	4,676	4,418
流動負債合計	40,177	41,514
固定負債		
長期借入金	22,557	27,170
退職給付引当金	1,517	1,622
役員退職慰労引当金	261	261
その他	805	1,208
固定負債合計	25,141	30,262
負債合計	65,318	71,777
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,545	10,545
資本剰余金	12,467	12,467
利益剰余金	13,827	14,063
自己株式	△396	△396
株主資本合計	36,443	36,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△115	△80
繰延ヘッジ損益	△205	△131
為替換算調整勘定	603	2,311
その他の包括利益累計額合計	282	2,099
純資産合計	36,726	38,778
負債純資産合計	102,045	110,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	29,473	37,724
売上原価	25,527	32,735
売上総利益	3,946	4,988
販売費及び一般管理費	3,874	4,296
営業利益	71	691
営業外収益		
受取利息	11	8
受取配当金	10	15
為替差益	—	847
その他	129	109
営業外収益合計	152	980
営業外費用		
支払利息	440	447
為替差損	1,003	—
その他	607	243
営業外費用合計	2,050	690
経常利益又は経常損失(△)	△1,826	982
特別利益		
固定資産売却益	3	1
受取補償金	59	159
特別利益合計	63	161
特別損失		
固定資産除売却損	18	165
減損損失	—	62
たな卸資産廃棄損	461	—
環境対策費	436	—
工場休止費用	229	—
特別損失合計	1,147	228
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,910	915
法人税等	△162	679
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,747	235
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,747	235

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△2,747	235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	35
繰延ヘッジ損益	△97	73
為替換算調整勘定	△1,640	1,707
その他の包括利益合計	△1,755	1,816
四半期包括利益	△4,502	2,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,502	2,052
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,910	915
減価償却費	3,212	2,974
減損損失	—	62
のれん償却額	31	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	94	105
賞与引当金の増減額(△は減少)	△90	8
受取利息及び受取配当金	△22	△23
支払利息	440	447
為替差損益(△は益)	890	△929
有形固定資産除売却損益(△は益)	14	164
受取補償金	△59	△159
売上債権の増減額(△は増加)	△686	△3,730
たな卸資産の増減額(△は増加)	△193	△1,808
仕入債務の増減額(△は減少)	1,051	1,245
その他の資産の増減額(△は増加)	△340	△112
その他の負債の増減額(△は減少)	△127	152
小計	1,296	△689
利息及び配当金の受取額	22	23
利息の支払額	△438	△461
補助金の受取額	—	500
補償金の受取額	59	159
法人税等の支払額	△559	△982
営業活動によるキャッシュ・フロー	380	△1,450
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,942	△2,101
有形固定資産の売却による収入	18	41
無形固定資産の取得による支出	△26	△56
投資有価証券の取得による支出	△0	△163
保険積立金の積立による支出	△11	△7
保険積立金の払戻による収入	169	356
その他	19	93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,773	△1,836

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,506	803
長期借入れによる収入	5,283	9,836
長期借入金の返済による支出	△4,691	△6,949
割賦債務の返済による支出	△39	△66
配当金の支払額	△93	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,966	3,624
現金及び現金同等物に係る換算差額	△103	174
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,470	512
現金及び現金同等物の期首残高	3,751	8,788
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,221	9,300

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、電子回路基板等の設計、製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。